

自分自身と大切な家族を守る手引き

小竹町 保存版

総合防災マップ



大雨・洪水



土砂災害



地震

目次

日頃からの備え…………… P1

大雨・洪水に備えて …… P2

土砂災害に備えて …… P3

地震に備えて…………… P4

避難時の心得 …………… P5～6

ハザードマップの見方…………… P6

ハザードマップ(小竹北) …… P7～8

ハザードマップ(小竹南) …… P9～10

ハザードマップ(小竹西) …… P11～12

災害への備え…………… P13



小竹町全体の
ハザードマップ(A1サイズ)
巻末ポケット



我が家の
防災メモ等
裏表紙

小竹町
KOTAKE TOWN

2022年(令和4年)5月作成

はじめに

防災・減災対策は、住民の皆さまが主役です。近年、気候変動の影響により、毎年のように日本各地で様々な災害が発生し、大きな被害が発生しています。小竹町でも過去には、水害が発生し、道路の冠水、床上浸水などの被害を受けており、決して他人事ではありません。

住民の皆さまにおかれましては、『小竹町総合防災マップ』を広く活用していただき、災害リスクへの正しい知識、命を守るための行動を修得し、「自分の命は、自分で守る」を基本に防災・減災に対する意識を高め、災害に備えていただきますようお願いいたします。

小竹町役場 令和4年5月



日頃からの備え

いざという時にあわてないように、避難場所や家族同士の連絡方法などについて、家族で話し合っておきましょう。

家族で話し合っておきたいこと

- 1 家の中で安全な場所はどこか
- 2 家族同士の連絡方法
- 3 最寄りの避難場所と、そこまでの避難ルートの確認
- 4 家族が最終的に出会う場所

作成例

オリジナルマップを作りましょう！

避難場所

災害が起こった時に避難する場所をあらかじめチェックしておきましょう。

危険な場所

川の近くなど、洪水時に危険となるような場所には印をつけておいて、その道は通らないようにしましょう。



目印となる場所

避難経路上で目印となる場所を書き込みましょう。特に曲がり角には分かりやすい目印を書き込みましょう。

避難経路

避難場所までの経路を書き込みましょう。

自宅

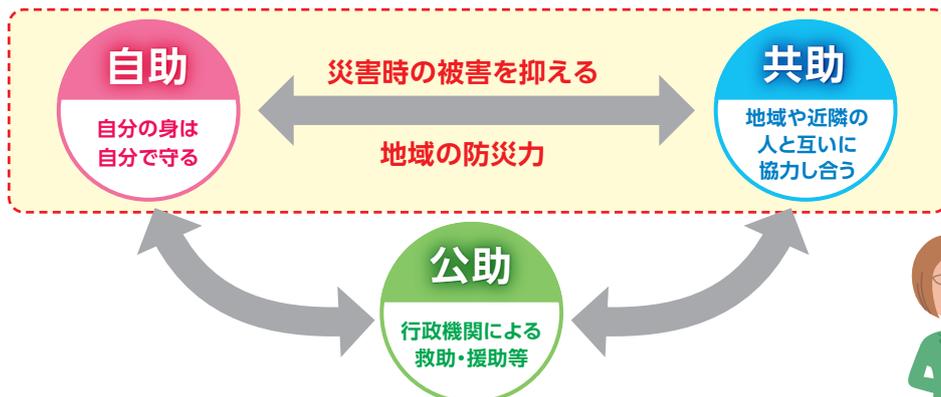
あなたの自宅を書き込みましょう。

自宅や地域にどのような危険があるか?地図面の「防災マップ」で確認しましょう!



自主防災組織により防災・減災!

災害対策には、自分自身で備える「自助」、地域で助け合う「共助」、行政が行う「公助」の3つの役割があります。防災は、一人一人が防災意識を高め、自助の力を高め、また自分一人では対応できなくなった時、隣近所や地域全体で力を合わせ、高齢者などの避難行動要支援者を助け合うなど相互に助け合うことが大切です。



小竹町は自分たちで守る! 地域の取組みに協力を!!





大雨・洪水に備えて

洪水浸水想定区域が見直されました。

早期の立ち退きが必要な区域

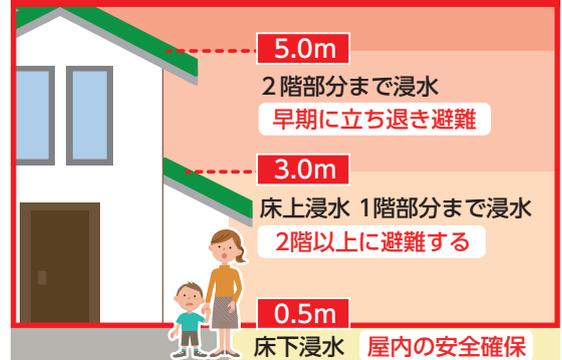
洪水浸水想定区域 (想定最大)



2階以上へ退避 (洪水浸水・土砂災害)

遠賀川洪水浸水想定区域 (想定最大雨量592mm/12時間)
国土交通省九州地方整備局告示第11号

洪水浸水想定区域 (浸水の深さ)



洪水浸水想定区域は、水防法の規定により指定された区間において、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により河川が氾濫した場合の浸水の状況を予測したものです。洪水浸水想定区域は、指定されていない区域でも浸水する場合や、実際の浸水深と異なる場合があります。

浸水の深さを想定した避難の流れ

マップを確認

浸水の深さ

判断

ご留心

- 想定される浸水の深さによって、避難方法は異なります。
- 地図で自分の家で想定される浸水の深さを確認し、避難の方法を考えましょう。

0.5m未満の浸水

- 床下浸水 ● 大人のひざ下程度
- 浸水の深さがひざ上になると歩行は危険

状況に応じて

自宅にとどまる

- むやみな移動はかえって危険
- 屋内待機

0.5～3m未満の浸水

- 床上浸水
- 1階以上が浸水
- 強い水流の中を歩くことは危険

少なくとも

自宅の2階 危険のない近くの高い建物

- 自宅や近くの丈夫な建物の2階以上にとどまる
- 垂直避難

3m以上の浸水

- 2階以上が浸水
- 水流が強い場合には、木造住宅が倒壊する危険がある

時間と安全な避難経路が確保されていれば

必ず

浸水しない場所

- 丈夫な建物
- 高層階
- 知人や親戚宅など

避難の際の注意事項

動きやすい服装で!

動きやすく、安全な服装で、かつ、運動靴をはきましょう。長靴はやめましょう。



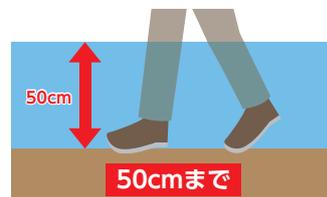
車での避難は控えて!

車は、約30cmの浸水で走行困難になります。車での避難は避けましょう。



人が歩ける目安

水深が深い場合は無理せず高所へ避難します。



河川や水路には近づかない!

川や田んぼを見に行かないでください!



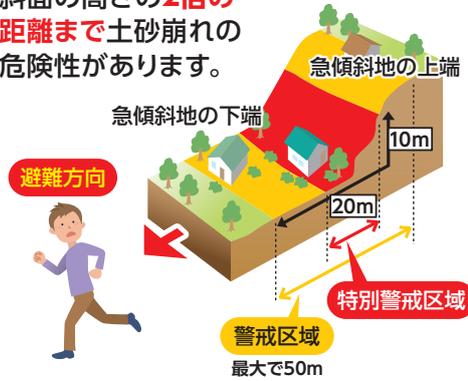


土砂災害に備えて

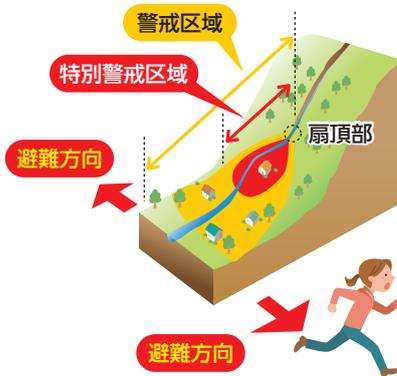
土砂災害警戒区域等

がけ崩れ(急傾斜地)

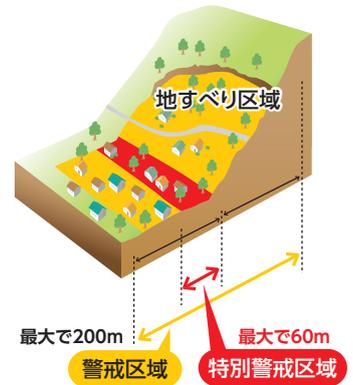
斜面の高さの**2倍の距離**まで土砂崩れの危険性があります。



土石流



地すべり



土砂災害警戒区域

(土砂災害のおそれがある区域)

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがある区域を指定します。

土砂災害特別警戒区域

(建築物が破壊され、住民に大きな被害が生じるおそれがある区域)

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、**建築物に損壊が生じ**住民等の生命又は身体に**著しい危害**が生ずるおそれがある区域を指定します。

台風

大雨

長雨

地震

このような時、このような場所は**危険!**

がけ崩れ(急傾斜地)

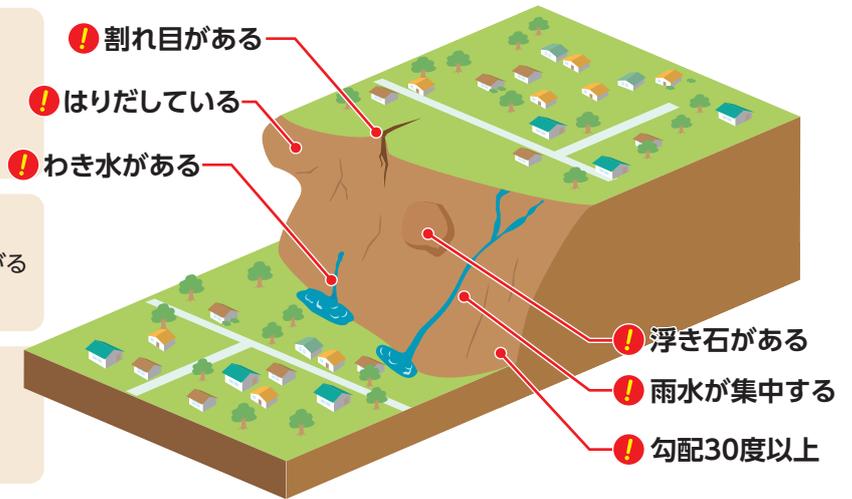
- ・がけからの水がにごる
- ・がけに亀裂が入る
- ・小石が落ちてくる
- ・がけから音がする

土石流

- ・山鳴りがする
- ・雨が降りつづくのに、川の水位が下がる
- ・川がにごったり流木が流れる

地すべり

- ・地面にひび割れができる
- ・井戸や沢の水がにごる
- ・がけや斜面から水が吹き出す



土砂災害 いざという時の危険回避!

急傾斜地の場合



斜面の高さの2倍以上離れる

土石流の場合



下流に逃げず、直角方向に!

逃げ遅れた場合には「屋内安全確保」を!

自宅の周辺がすでに増水して、夜間で視界が悪く、**屋外に出るとさらに危険な場合は...**

- 近くの丈夫な建物 (鉄筋コンクリート造)
- 自宅の2階以上 (斜面側から離れた部屋) に避難しましょう!



就寝は1階よりも2階で!



地震に備えて

日頃から、地震が起きた時の行動をイメージしておきましょう。

地震発生

落ち着いて!まずは自分の身の安全を確保しましょう。



1~2分

❗ 揺れがおさまったら、火元を確認する。

コンロの火を消し、ガスの元栓を閉める。火が出ていたら消火する。



3分

❗ 靴をはき、ガラスの破片などから足を守る。

❗ ドアや窓を開けて逃げ道を確保する。

家族の安否確認

5分

❗ ラジオなどで正しい情報を確認

間違った情報やうわさなどにまどわされないように!



❗ 家を出る前に電気のブレーカーを切る。

土砂災害のおそれがある場合はすぐに避難する

5~10分

余震に注意!

崩れる危険性がある建物には近寄らないこと

❗ 避難途中の注意!

ブロック塀やガラスに注意する。車は使用せず、徒歩で避難する。



❗ 隣近所の安否確認

一人暮らしの高齢者には積極的に声をかけ、安否確認する。必要であれば避難の補助を行う。



❗ 消火・救出活動

隣近所で協力して消火や救出活動を行う。

10分~数時間

1~3日くらい

❗ 生活必需品は備蓄でまかなう。

災害発生から3日程度は、外部からの応援は期待できない。



❗ 災害情報、被害情報の収集

町の広報に注意する。

避難生活では ❗ 自主防災組織を中心に行動する。集団生活のルールを守る。助け合いの心で!

震度4

- ほとんどの人が驚く。
- 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。
- 座りの悪い置物が倒れることがある。



震度5弱

- 大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。
- 棚にある食器類や本が落ちることがある。
- 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。



震度5強

- 物につかまらなると歩くことが難しい。
- 棚にある食器類や本で落ちるものが多くなる。
- 固定していない家具が倒れることがある。
- 補強されていないブロック塀が崩れることがある。



震度6弱

- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。



震度6強

- はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。



震度7

- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。
- 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる。

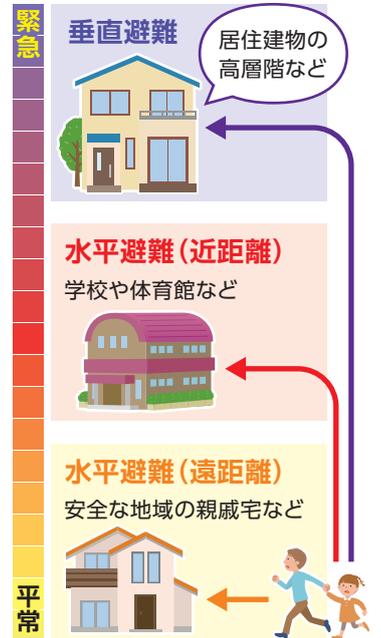




避難時の心得

近年発生した豪雨災害を教訓とし、令和3年5月に災害対策基本法(令和3年法律第30号)の改正により、水害・土砂災害について、町が発令する避難情報と気象庁などが発表する防災気象情報が5段階に統一されました。避難のタイミングの参考としてください。ただし、各種情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあるため、**危険を感じたら町が発令する避難指示等を待たずに自主避難を!!**

高	警戒レベル	防災気象情報	避難情報	住民がとるべき行動
緊急度	警戒レベル 5	大雨特別警報	緊急安全確保	危険な区域からまだ避難できていない方は 命を守るための最善の行動をとる。
	警戒レベル 4	土砂災害警戒情報	避難指示	避難を完了 少しでも安全な場所にすみやかに避難
	警戒レベル 3	大雨警報 洪水警報	高齢者等避難	高齢者等はすみやかに避難する。 河川沿いにお住まいの方は、 避難準備が整い次第、避難を開始する。
	警戒レベル 2	大雨注意報 洪水注意報	—	ハザードマップ等で避難行動を確認
	警戒レベル 1	早期注意情報 (警報級の可能性)	—	災害への心構えを高める。
低				



あらかじめ予想できる災害については、感染症を避けるためにも安全な親戚宅などへの「分散避難」に努めましょう。日頃から早期避難を心がけ、備蓄などをしっかり準備し、災害に備えましょう。

▶ 避難のポイント

- 避難とは[難]を[避]けること。**安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。**
- 避難先は、小中学校・公民館だけではありません。**安全な親戚・知人宅・ホテルに避難することも考えてみましょう。**
- マスク・消毒液・体温計が不足します。できるだけ**自ら携行**してください。
- 町が指定する避難所が変更・増設されている可能性があります。災害時には町ホームページ等で確認してください。
- 豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。やむをえず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分確認してください。

▶ 避難所での感染症対策

- 避難所に入る前に、マスクの着用、検温、体調チェックを行いましょ。
- 食事前、トイレ使用后、ごみ処理後等、石けんと水で手洗いをしましょう。
- 水を十分に確保することが困難で手洗いができない場合は、アルコール消毒液で代用しましょう。
- 咳エチケットを徹底しましょう。
- 飛沫感染を予防するため、咳等が出ていない場合もマスクを着用しましょう。
- 避難所を出入りする場合等、必ず手指の消毒を行いましょ。



感染症対策で備蓄品に加えたいもの

- マスク
- アルコール消毒液
- ハンドソープ・固形石けん
 - ▶ 家族もしくは自分用を持参
- 使い捨てのビニール手袋
 - ▶ ドアノブなど多くの人が触れるものからの接触感染を防ぐため
- 体温計
 - ▶ 自治体で用意できない場合があるため。使い慣れたものを持参しましょう。
- 上履き(スリッパでも可)
 - ▶ 床からの接触感染防止
滑り止め付き：転倒防止・静音機能
- ティッシュ、ウエットティッシュ、ペーパータオル、ビニール袋



避難所は、多くの方が避難する場所です。「密」になりやすいため、感染症対策を心がけましょ!

▶ 町内の避難所について

指定緊急避難場所 …… 災害が発生し、または発生するおそれがある場合にその危険から逃れるための避難地

指定避難所 …… 学校の体育館や公民館など、被災者を受け入れて一定の期間生活する施設

指定緊急避難場所、指定避難所の一覧は以下のとおり。

指定緊急避難場所					
番号	施設名	所在地(大字番地)	大雨・洪水	土砂災害	地震
①	総合運動公園	勝野1757番地	×	●	●
②	七福町民グラウンド	勝野3959番地	×	●	●
指定避難所					
③	小竹北小学校	御徳1375番地	×	●	●
④	小竹東住民センター	御徳1783番地1	×	●	●
⑤	小竹中学校	御徳656番地	●	●	●
⑥	小竹町中央公民館	勝野1757番地	●	●	●
⑦	児童体育館	勝野1757番地1	●	●	×
⑧	町民体育館	勝野1757番地7	●	●	×
⑨	総合福祉センター	勝野3362番地	▲	●	●
⑩	小竹南小学校	勝野3540番地	●	●	●
⑪	小竹こども園	勝野2746番地1	●	●	×
⑫	七福コミュニティセンター	勝野2837番地1	●	●	●
⑬	福岡県立小竹高等技術専門学校	新多514番地2	●	●	●
⑭	新多コミュニティセンター	新多398番地1	●	●	●
⑮	小竹西小学校	新多466番地1	●	●	●

※▲印の指定避難所は、台風等の災害の危険性を判断し、状況により開設します。

▶ ペットの避難について

ペットホテルや預かって頂ける安全な知人宅など**日頃から預け先などを準備・確認**しておきましょう。



▶ 車中泊避難における注意事項

車中泊を行う際、長時間にわたり足を動かさず同じ姿勢でいるとエコノミークラス症候群になるおそれがあります。予防対策を事前に確認しておきましょう!

【予防対策】

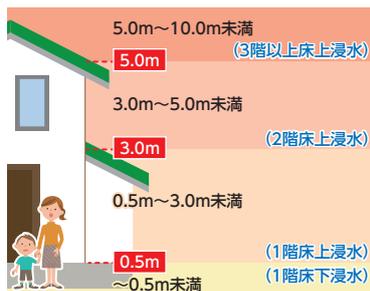
- 同じ姿勢で長時間過ごさない。
- 車内で寝る際は、できるだけ足を下げて寝ない。
- 1時間に1回程度、血流促進の運動や工夫を行う。
- こまめな水分補給を心がける。
- ゆったりとした衣類を着用する。



ハザードマップの見方

▶ 洪水浸水想定区域

河川が氾濫した場合の「浸水する範囲(浸水域)」と「浸水の深さ(浸水深)」を示しています。



▶ 土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域

土石流とは、大雨などが原因で山や谷の土・石・砂などが崩れ、水とまじってどろどろになり、一気に流れ出てくる現象です。破壊力が大きく、速度も速いので、大きな被害をもたらします。

急傾斜地の崩壊とは、急な斜面が突然崩れ落ちる現象です。大量の雨が斜面にしみ込んだり、地震の揺れが原因で発生します。大量の土砂が突然崩れ落ちてくるため、逃げ遅れる危険性があります。



▶ 家屋倒壊等氾濫想定区域

想定最大規模のシミュレーションをもとに、「家屋倒壊等」をもたらすような氾濫の発生が予想される区域を示したものです。

この区域は、「氾濫流」と「河岸侵食」の2種類があり、この区域の範囲は、**早期の立ち退き避難が必要**です!

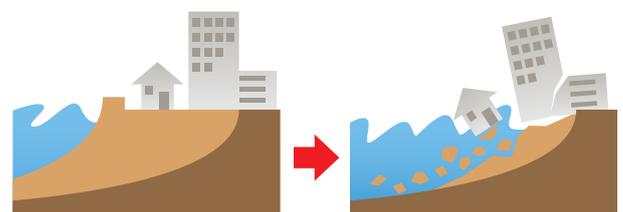
「氾濫流」による家屋倒壊等

氾濫した洪水の流速が速く、木造家屋が倒壊するおそれのある区域



「河岸侵食」による家屋倒壊等

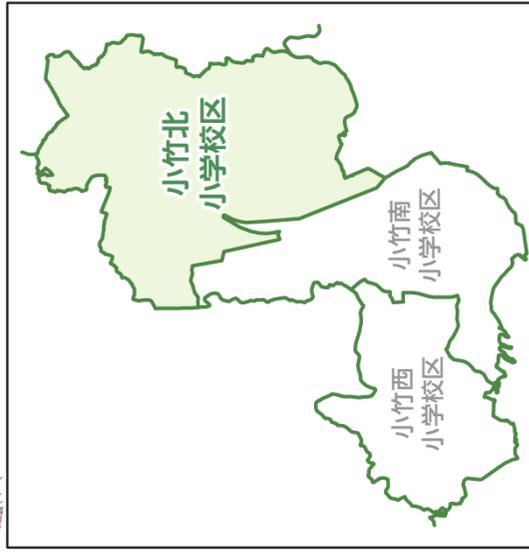
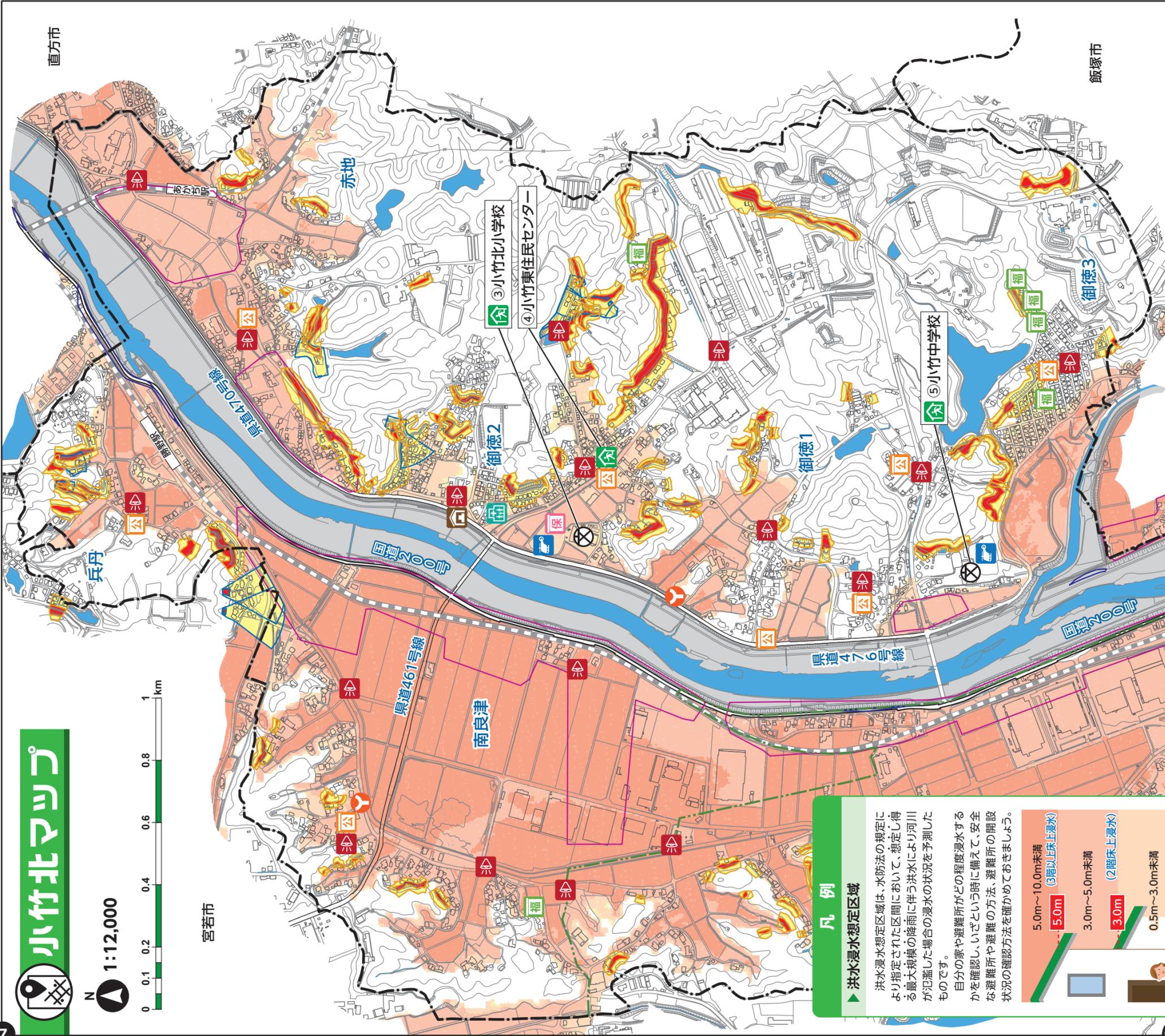
洪水時の河岸侵食(洪水の勢いにより地面が削り取られる現象)により、木造・非木造家屋が倒壊するおそれのある区域



小竹北マップ



1:12,000

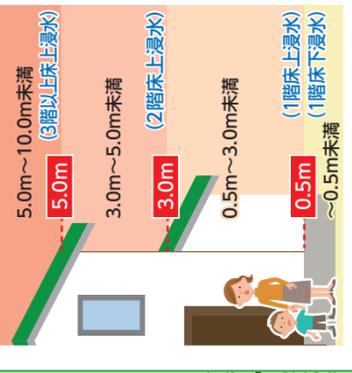


凡例

洪水浸水想定区域

洪水浸水想定区域は、水防法の規定により指定された区間において、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により河川が氾濫した場合の浸水の状況を予測したものです。

自分の家や避難所がどの程度浸水するかを確認し、いざという時に備えて、安全な避難所や避難の方法、避難所の開設状況の確認方法をおまかせしよう。



… 家屋倒壊等氾濫想定区域 (沿岸侵食)
 … 家屋倒壊等氾濫想定区域 (氾濫流)

土砂災害(特別)警戒区域

… 土砂災害警戒区域 (イエロー)
 … 土砂災害特別警戒区域 (レッド)



- 指定緊急避難場所 (指定緊急避難場所)
- 指定避難所 (指定避難所)
- 福祉施設 (福祉施設)
- 保育施設 (保育施設)
- 学校 (学校)
- 医療施設 (医療施設)
- 福祉施設 (福祉施設)
- 警察機関 (警察機関)
- 公民館/集会所 (公民館/集会所)
- 町役場 (町役場)
- 水防倉庫 (水防倉庫)
- ヘリコプター発着場 (ヘリコプター発着場)
- 消防機関 (消防機関)
- 防災行政無線 (防災行政無線)

境界 (境界) --- 町境 (町境) - - - 小学校区界 (小学校区界)

※土砂災害(特別)警戒区域の詳細の範囲等は、福岡県(土砂災害警戒区域等マップ)で確認することができます。



小竹南マップ

凡例

▶ 洪水浸水想定区域

洪水浸水想定区域は、水防法の規定により指定された区間において、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により河川が氾濫した場合の浸水の状況予測したものです。

自分の家や避難所がどの程度浸水するかを確認し、いざという時に備えて、安全な避難所や避難の方法、避難所の開設状況の確認方法を確認しておきましょう。



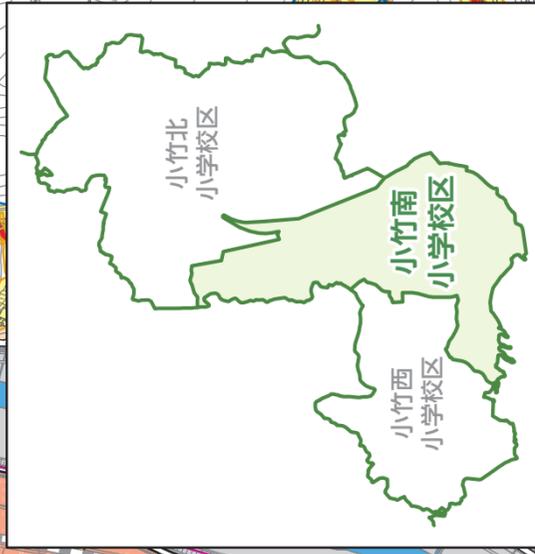
- 家屋倒壊等氾濫想定区域 (河岸侵食)
- 家屋倒壊等氾濫想定区域 (氾濫流)

▶ 土砂災害(特別)警戒区域

- 土砂災害警戒区域 (イエロー)
- 土砂災害特別警戒区域 (レッド)



※土砂災害(特別)警戒区域の詳細の範囲等は、福岡県(土砂災害警戒区域等マップ)で確認することができます。



指定緊急避難場所及び指定避難所

指定緊急避難場所 指定避難所

福祉・医療・教育施設

福祉施設 保育施設
医療施設 学校

その他施設

公民館/集会所 町役場
水防倉庫 警察機関
消防機関
防災行政無線
ヘリコプター発着場

境界

--- 町境 --- 小学校区界

宮若市

⑥小竹町中央公民館

⑦児童体育館

⑧町民体育館

①総合運動公園

勝野2

勝野1

⑨総合福祉センター

⑩小竹南小学校

芦北

⑪小竹こども園

⑰七福コミュニティセンター

⑱七福町民グラウンド

飯塚市



1:12,000



小竹西マップ

N 1:11,000



宮若市

毛勝

⑬福岡県立小竹高等技術専門学校

⑭新多コミュニティセンター

県道74号線

本町

栄町

新多

⑮小竹西小学校

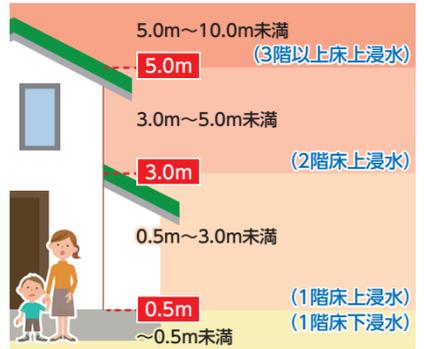
飯塚市

凡例

▶ 洪水浸水想定区域

洪水浸水想定区域は、水防法の規定により指定された区間において、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により河川が氾濫した場合の浸水の状況を予測したものです。

自分の家や避難所がどの程度浸水するかを確認し、いざという時に備えて、安全な避難所や避難の方法、避難所の開設状況の確認方法をおまかせください。



- … 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)
- … 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)

▶ 土砂災害(特別)警戒区域

- … 土砂災害警戒区域(イエロー)
- … 土砂災害特別警戒区域(レッド)



※土砂災害(特別)警戒区域の詳細の範囲等は、福岡県(土砂災害警戒区域等マップ)で確認することができます。

▶ 指定緊急避難場所及び指定避難所

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所

▶ 福祉・医療・教育施設

- 福祉施設
- 保育施設
- 医療施設
- 学校

▶ その他施設

- 公民館/集会所
- 町役場
- 水防倉庫
- 警察機関
- 消防機関
- 防災行政無線
- ヘリコプター発着場

▶ 境界

- 町境
- 小学校区界





災害への備え

備蓄をしておきましょう!!

大規模災害では、水道、ガスなどのライフラインにも大きな被害が生じ復旧までにはある程度の時間を要します。また、流通機能も麻痺し物資が手に入らなくなる可能性があります。いざという時のために、家庭でも備蓄をしておきましょう。

備蓄を検討する場合、乳幼児がいる、寝たきりの高齢者がいる、など**家族構成の違いによって、備蓄する物品が異なります。各家庭の状況に応じ、最低でも3日分の備蓄をしておきましょう。**



▶ 備蓄品の例

1 食料	お米やアルファ米、レトルト食品や缶詰、カップ麺・離乳食・粉ミルクなどを準備しましょう。	食料 火を通さずに食べることができ、保存の可能なものにしましょう。
2 飲料水	水(飲料用と煮炊き用)は大人一人一日あたり、3リットルが目安です。水の配給を受けるための、ポリ容器、給水袋も必要になります。	飲料水 一人一日3リットルを目安にしましょう。
3 燃料	カセットコンロとガスボンベを用意。ガスボンベは多めに備蓄しておいた方がよいでしょう。	ガスボンベ・コンロ 火がつくかどうかの確認をしましょう。
4 その他	皿・コップなどの食器類、サランラップ、歯磨き、石けん・ドライシャンプーなどの衛生用品、懐中電灯・ランタン・ろうそくなどの灯り、新聞紙・段ボール・布製ガムテープ、常備薬など。	生活必需品 普段の生活になくてはならないもの。メガネ、生理用品、トイレットペーパーなど。

安全対策を確認しておきましょう!!

安全と思われる家の中や家のまわりでも、災害時に避難や救助の妨げになったり、落下物によるケガなどの被害を引き起こすおそれがあります。**災害に備えて日頃から確認する習慣をつけておきましょう。**

▶ 家の中の安全対策

家具の転倒、落下防止のための、金具などで固定する。	飛散防止フィルムを貼るなどガラスの飛散を防止する。	重たい荷物は高いところに置かず、床に置いておく。	出入口付近には物を置かず避難口を確保する。
停電に備えて、懐中電灯や携帯ラジオと予備の電池を準備しておく。	住宅用火災警報器、住宅用消火器を設置しておく。	タコ足配線やコードを束ねて使用しない。	

▶ 家の外の安全対策

- アンテナ、看板などは、針金などを使って補強しておく。
- 壁には亀裂はないか確認しておく。
- 窓枠のがたつきはないか、ひび割れはないか確認しておく。
- 板塀にぐらつきや腐れはないか確認しておく。
- 瓦の割れ、ずれ、はがれがないか。トタン屋根のめくれ、はがれがないか確認しておく。
- プロパンガスボンベが固定されているか確認しておく。
- 物干し竿・植木鉢・自転車などが風で飛ばされないようにしておく。
- その他
 - 農業用水路や、排水溝、雨どいのごみや泥、落ち葉や土砂を取り除いておく。
 - 電気の引込線のたるみや破損があったら電力会社に連絡する。



パソコン・スマートフォン向け防災情報

▶ 町の緊急情報

小竹町 緊急情報

検索



▶ 気象情報気象庁ホームページ

気象庁

検索

▶ 遠賀川河川事務所「防災リアルタイム情報」

遠賀川河川 防災リアルタイム情報(雨量水位)

検索



▶ 福岡県防災ホームページ

福岡県 防災

検索



携帯電話・スマートフォン向け 防災情報メールサービス

▶ 福岡県防災メール「まもるくん」(事前登録が必要です)

- ① 右記の二次元コードを読み取り、URLにアクセスします。
- ② 『登録』をクリックし、内容を登録したら完了です。



▶ 小竹町LINE公式アカウント

- ① LINEのホーム画面右上にある『友だち追加』を選択します。
- ② 右記の二次元コードを読み取り、表示された『追加』を選択します。



我が家の防災メモ

我が家の避難所				
家族の集合場所 (家族が離ればなれになった時)				
災害時の緊急連絡先				
備蓄品の置き場所				
家族の名前	生年月日	血液型	持病・常用している薬	会社・学校の連絡先

知っておくと便利な緊急連絡先

火事・救急

119

警察

110

災害用伝言ダイヤル操作方法

災害用伝言ダイヤルは、地震、津波などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始される声の伝言板です。「171」をダイヤルし、音声ガイダンスに従って伝言の録音、再生を行ってください。

電話の場合

1 7 1

にダイヤル

録音の場合 **1**

再生の場合 **2**

被災地の方はご自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。

(0 × × ×) × × - × × × ×

海上の事故・事件

118

災害用伝言ダイヤル

171

インターネットの場合

Web171 災害用伝言板

パソコン、携帯電話、スマートフォン

「災害用伝言板(Web171)」は、インターネットを利用して被災地の方の安否確認を行う伝言板です。

準備しておきたい家庭での備蓄品!

用意ができたなら チェックしましょう。

チェック日

避難の際に準備しておきたいもの

個人に必要な情報

- 健康保険証・運転免許証
- 診察券・処方薬
- マイナンバーカード



状況を把握するため

- ポケットラジオ
- 予備の電池
- 筆記用具 (油性ペン含)



いざという時の備え

- 食料 飲料水
- 粉ミルク・液体ミルク
- 呼子笛・防犯ベル

※家には常に、3日分程度の食料・飲料水を備蓄しておきましょう。



長期的に準備しておきたいもの

速やかな避難のため

- 紐なしの靴
- LEDライト
- 作業用手袋
- ヘルメット
- レインコート



なければ困るもの・いざという時の備え

- 常備薬
- マスクや補聴器
- 通帳等の貴重品



- ラップ・ポリ袋
- ウエットティッシュ・除菌アルコール
- タオル・下着類
- 携帯電話・充電済バッテリー
- マッチ・ライター
- 毛布・寝ぶくろ
- 衛生用品・生理用品
- その他、個別に必要なと考えられるもの



●ハザードマップは、災害に備えて大切に保管しておきましょう。

●避難所や避難経路は事前に家族で確認しておきましょう。